



インフルエンザを予防！ しっかり手洗い、きちんとマスク

令和6年3月13日

富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第10週分・3月4日～3月10日)
(令和6年第11週分は令和6年3月21日(木)発行予定です。)

《インフォメーション》

●インフルエンザ

新型コロナウイルス感染症が流行する以前には、インフルエンザは毎シーズン、12月頃から翌年3月頃に流行していました。しかし、全国および富山県において、2020/21シーズンから2021/22シーズンにかけて大きな流行は起こりませんでした。

全国の2023/24シーズンの患者報告数は2023年第49週にピークを迎え、その後減少傾向でした。2024年に入り第6週までは再度増加傾向にありましたが、第7週から減少傾向に転じています(図参照)。

富山県の2023/24シーズンの患者報告数は、2023年第50週にピークを迎えました。その後一旦、患者報告数は減少しましたが、2024年に入り第3週に再増加しました。その後、患者報告数はほぼ横ばいで推移していましたが、今週(第10週)は26.21人/定点となり、先週の報告数(16.00人/定点)から大幅に増加しました。また、インフルエンザウイルスは第5週以降A型からB型優位にシフトし、今週はインフルエンザウイルスの大半(88.4%)がB型となっています。今シーズン、インフルエンザにより学級閉鎖等の措置をとった施設数は、3月12日時点で504施設(保育所・幼稚園8、小学校344、中学校102、高等学校45、その他5)となっています。年代別割合では15歳未満の小児が88%を占めており、学校等の集団生活の場での感染拡大に注意が必要です。

インフルエンザの主な感染経路は飛沫、接触感染です。予防法として、ワクチン接種、手指衛生、マスクの着用、咳エチケットなどが有効です。発熱や咳等の症状がある場合は無理をせず登園や出勤を控えるようにしましょう。

《全数報告の感染症》

四類感染症 レジオネラ症 2件(①②ともに80歳代、男性、肺炎型)

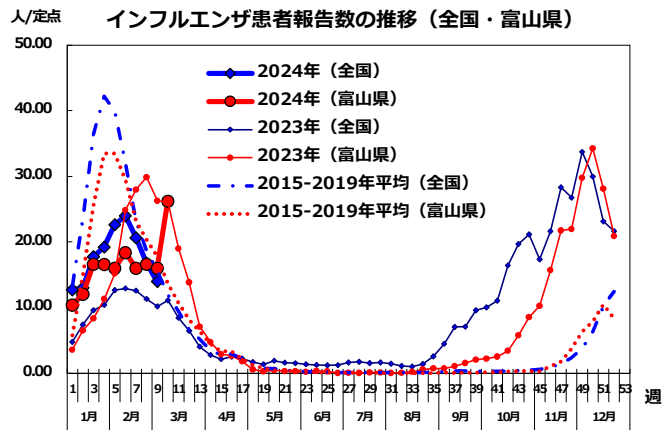
五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件(第9週診断分:80歳代、男性)

侵襲性肺炎球菌感染症 1件(70歳代、女性)

梅毒 1件(70歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	インフルエンザ	26.21(↑)	16.00
2位	感染性胃腸炎	12.00(↓)	13.28
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7.31(↑)	6.34
4位	COVID-19	6.85(↓)	7.15
5位	咽頭結膜熱	2.93(↑)	2.62
6位	RSウイルス感染症	0.31(↑)	0.17



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第10週 令和6年3月4日～令和6年3月10日）

分類	疾患	今週報告分（第10週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核							2	7	2	7	18	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1		1	2	
	四類感染症	レジオネラ症			2			2		4	1	4	9	
	五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									1		2	3
		急性脳炎									1		1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2	1	3	6
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	2	3
		侵襲性インフルエンザ菌感染症										1	1	2
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
侵襲性肺炎球菌感染症		1					1	1			1	2	4	
梅毒				1		1				1	1	3		
インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	63	52	374	241	528	1,258	740	736	2,370	936	3,125	7,907	
	COVID-19	9.00	10.40	28.77	34.43	33.00	26.21	644	495	1,637	744	1,489	5,009	
小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1		1		7	9	6	1	5		25	37	
		0.25		0.13		0.70	0.31							
	咽頭結膜熱	1	10	28	2	44	85	36	79	273	11	367	766	
		0.25	3.33	3.50	0.50	4.40	2.93							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	9	130	12	51	212	57	84	1,057	126	537	1,861	
		2.50	3.00	16.25	3.00	5.10	7.31							
	感染性胃腸炎	30	28	101	29	160	348	217	263	463	297	1,086	2,326	
		7.50	9.33	12.63	7.25	16.00	12.00							
	水痘							1	4	11	8	24	48	
	手足口病			1			1	3	1	21		9	34	
				0.13			0.03							
	伝染性紅斑										1		1	
	突発性発しん	1	2	1	1	3	8	3	7	22	6	13	51	
0.25		0.67	0.13	0.25	0.30	0.28								
ヘルパンギーナ							31				1	33		
流行性耳下腺炎									2	2	1	5		
眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎				1		1				1		1	
					1.00		0.14							
流行性角結膜炎	1					1	7			6	2	6	21	
	1.00					0.14								
基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎									2		2		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）			1		1	2	20	10	28	43	60	161	
	COVID-19による入院患者	4	9		14	33	60	39	65	37	69	175	385	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

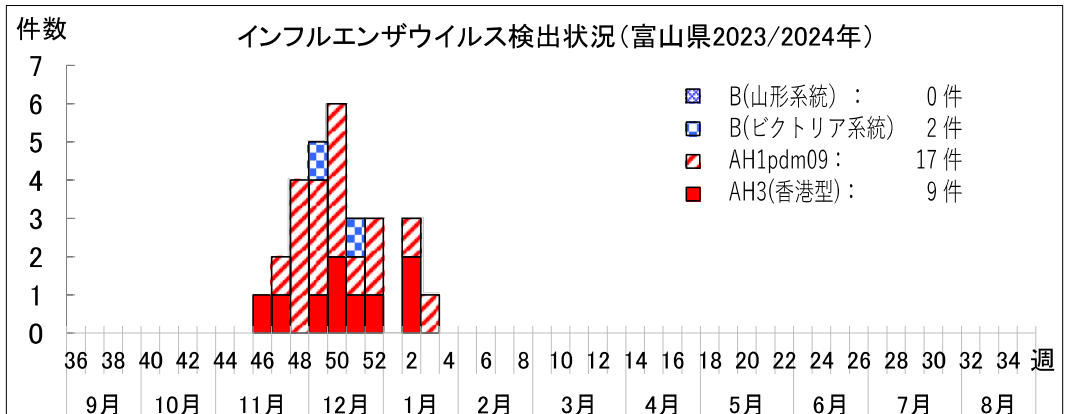
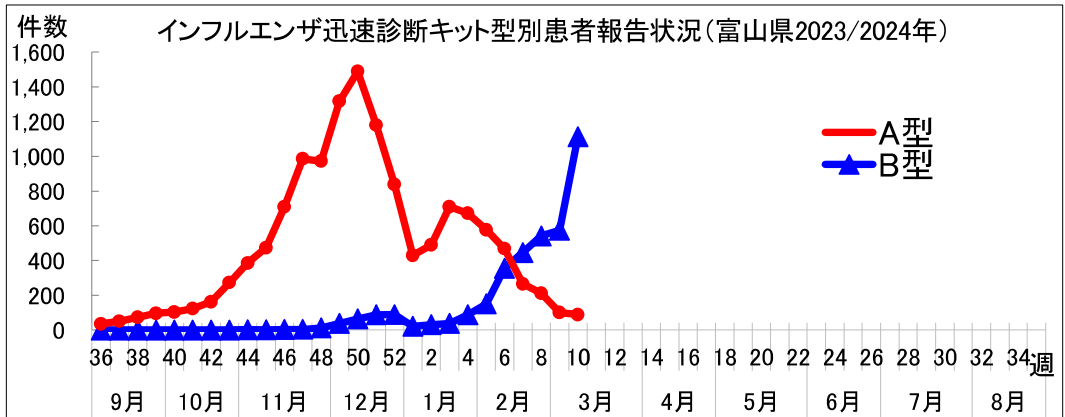
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、B型が88.4%となっています。

第10週(3/4~3/10)：富山県 26.21人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	1	62	0	63
中部	5 / 5	3	45	4	52
高岡	11 / 13	19	332	23	374
砺波	7 / 7	55	176	10	241
富山市	13 / 16	10	497	21	528
富山県	42 / 48 ^{※1}	88	1,112	58	1,258
富山県累計(2023年36週~)		13,266	3,658	1,092	18,016

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が42か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





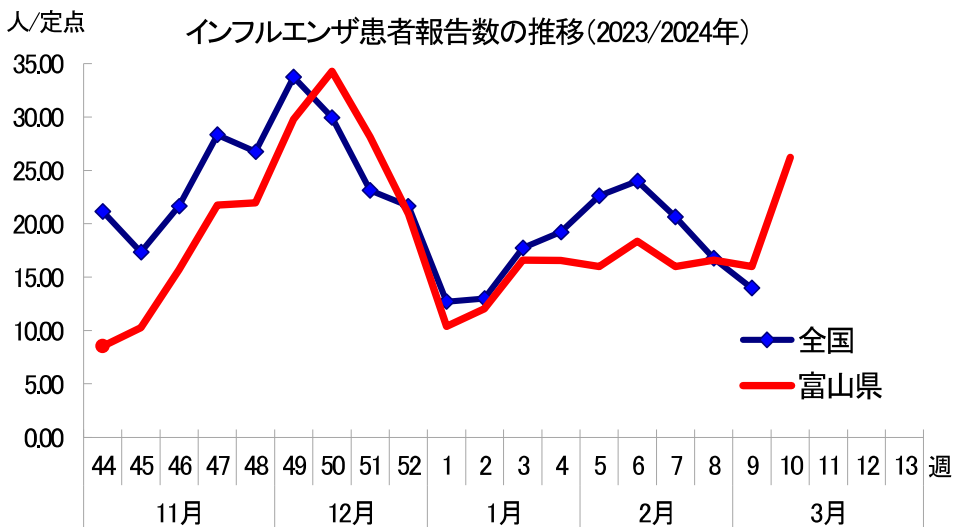
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第10週 (3/4~3/10) : 富山県 26.21 人/定点

新川 HC (9.00)、中部 HC (10.40)、高岡 HC (28.77)、砺波 HC (34.43)、富山市 HC (33.00)

全国の患者報告数は、第9週に 13.96 人/定点となり、減少が継続しています。

県内の患者報告数は、今週 26.21 人/定点となり、先週から大幅に増加しました。

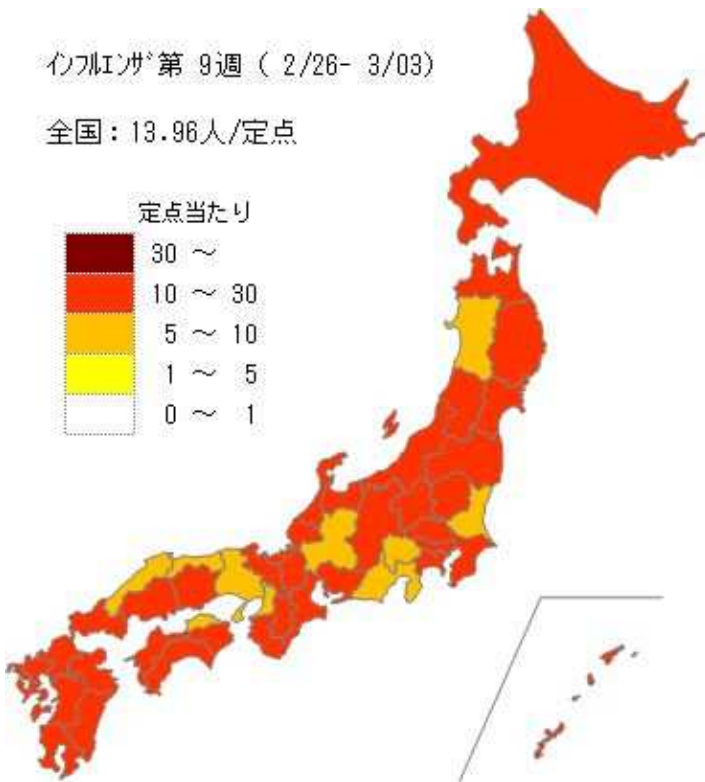


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第9週 (2/26~3/3)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 13.96 人となり、前週の 16.77 人より減少しました。9 道県で前週より増加しています。38 都府県で前週より減少しています。

インフルが第9週 (2/26- 3/03)

全国：13.96人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	27.35 ↑	滋賀県	10.65 ↓
青森県	14.81 ↑	京都府	10.92 ↓
岩手県	12.66 ↓	大阪府	8.95 ↓
宮城県	16.89 ↓	兵庫県	9.51 ↓
秋田県	6.71 ↑	奈良県	10.09 ↓
山形県	20.49 ↑	和歌山県	10.57 ↓
福島県	11.37 ↑	鳥取県	7.52 ↓
茨城県	9.99 ↓	島根県	7.03 ↑
栃木県	11.29 ↓	岡山県	13.17 ↓
群馬県	17.69 ↓	広島県	12.76 ↓
埼玉県	17.62 ↓	山口県	15.48 ↓
千葉県	15.89 ↓	徳島県	11.14 ↓
東京都	12.53 ↓	香川県	9.96 ↑
神奈川県	16.33 ↓	愛媛県	11.11 ↓
新潟県	18.27 ↑	高知県	12.55 ↑
富山県	16.00 ↓	福岡県	15.99 ↓
石川県	24.85 ↓	佐賀県	13.79 ↓
福井県	16.05 ↓	長崎県	18.83 ↓
山梨県	7.68 ↓	熊本県	16.83 ↓
長野県	10.40 ↓	大分県	17.62 ↓
岐阜県	8.97 ↓	宮崎県	14.55 ↓
静岡県	8.47 ↓	鹿児島県	11.76 ↓
愛知県	12.99 ↓	沖縄県	17.22 ↓
三重県	13.11 ↓	全国	13.96 ↓

○感染症発生動向調査報告状況（令和6年2月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		2月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症					11	11			2		18	20
						2.75	1.10						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1	1		5	7		1	1		10	12
			1.00	0.33		1.25	0.70						
尖圭コンジローマ					1	1				1	1	2	
					1.00	0.10							
淋菌感染症				1		1				1		2	3
				0.33		0.10							
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	1	4	1	11	18	3	2	8	2	19	34
		1.00	1.00	4.00	1.00	11.00	3.60						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1				1	2	1				2	3
		1.00				1.00	0.40						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。